

生駒市農業ビジョン推進懇話会 第3回会議録 (要点筆記)

- 1 開催日時 平成27年8月7日(金) 午前10時～午後12時
- 2 開催場所 生駒市役所 4階大会議室
- 3 参加者 石丸氏 井上氏(副座長) 桂氏(座長) 上武氏 小北氏 坂本氏 田中氏
中世古氏 中村氏 平沼氏 藤尾氏 安田氏 (五十音順)
- (事務局) 中谷環境経済部次長 林経済振興課長 植島経済振興課長補佐
高橋農林係長 長田農林係員
- 4 会議の公開・非公開 公開 傍聴人数 なし
- 5 議題 (1)環境フェスティバル参加報告
(2)平成27年度施策の取り組みについて
(3)生駒市農業基本構想について(報告)

6 審議内容

(1) 環境フェスティバル参加報告

座長 何か感想はあるか。

参加者 消費者レベルで考えることができ、とても楽しくすることができた。ただ、提供野菜が少なかったのが残念だった。定番化したら、やりがいにもなるかどうか。

参加者 わさび菜を知ってもらった機会となった。

座長 飛ぶように試食も野菜もなくなった。どういう風に調理したら良いのか、どんな人が作っているのか、どこに行けば手に入るかなどの情報があれば良いのではと思った。農業祭にもビジョンで出店することのご協力をお願いしたい。

(一同拍手)

参加者 各団体から何人か協力を出して、ともに創りあげたい。

座長 可能な限り協力していただきたい。

事務局 何がしたいなどのご意見はあるか。

参加者 販売している野菜のアピールとして、試食や小さい紙を渡すなどの対応をしたい。また、農業ビジョンらしいことをしたい。どんな野菜を出せるか。野菜にあわせて進めていきたい。高くても安心できるものを食べたいという主婦が多くいるので、農業祭に向けて野菜を作ってほしい。

事務局 内容は新規就農者のアピールをするということで良いか。

座長 新規就農者や黒大豆などの特産品をアピールしていけたらと思う。

(2) 平成27年度施策の取り組みについて

座長 何かご意見はあるか。

参加者 生駒市特別融資制度推進会議設置要領とは。

事務局 日本政策金融公庫のお金を借り入れる際に必要となってくる。

- 座長 地元農産物を買取るための仕組みづくりとは。
- 事務局 地元農産物とは、学校給食センターの食材を想定している。また、空き農地を活用して果樹などを栽培し、それを使用しスイーツを作ってもらうなど、特産品づくりについても次回からの懇話会で、これら2つの内容について来年の秋頃までにご意見をいただければと考えている。
- 参加者 知り合いでブルーベリーを作っている人がいるが、販売はしているものの多く作っているため、余りの処分に困っている。加工品として、販売する体制作りが難しい。小さな調理室のようなものを作ってもらえたらと思う。
- 座長 インフラ整備を含めて考えていきたい。
- 副座長 加工品は場所確保や保健所許可など必要で、量がなければ採算合わない。また意気込みを持った人でないと続かない。若い人でやる気がある人がいれば良いと思う。ベルテラスで月1回の青空市場を開催しており、お客さんもついてくれているが、まだまだ宣伝不足であると感じている。値段を安くして、新鮮なものを販売して頑張っていきたい。
- 参加者 保健所の許可をとってもらえたら、協力することはできる。大きい部屋でなくても体制作りができれば良い。
- 座長 この懇話会はECO-net 生駒や遊休農地利用者の方にも参加していただいているが、基本は農業者の方が中心の集まりで、スイーツ専門店などの連携事業者にも懇話会に入ってもらいたいアップしたらどうか。
- 事務局 いずれは連携事業者の方にも入ってもらえたら。まずは、遊休農地を利用して農産物や果樹の栽培ができるのかどうかご意見ほしい。
- 座長 生産するだけでなく、加工するなど出口の部分を考えないといけないと思う。
- 事務局 どのような事業者に参加してほしいなどご意見いただいたら、そのように進めていきたい。
- 参加者 地元農産物を買取る仕組みについてだが、スーパーの地産地消コーナーでも生駒だけのものを売りたいと思うが、なかなか事業者が地産地消に協力してくれないと感じている。
- 座長 流通の方も参加したらいいのでは。参加者の構成も含めて、次回の懇話会を開催する。開催時期はいつ頃を予定しているか。
- 事務局 冬頃を考えているが、農業祭の反省も踏まえて11月中はどうか。
- 参加者 懇話会で、空き農地を活用するということか。
- 事務局 行政が進めていく中で、懇話会のご意見をいただきながら動けたらと考えている。
- 座長 生産者だけでなく、加工業者の意見を聞く必要がある。
- 参加者 懇話会では、毎回同じような内容を話している気がする。一步でも前に進むことがあればと思う。
- 参加者 今回の環境フェスティバルに出店するなど、自分達が行動することで前に進んでいるのではと思う。

(3) 生駒市農業基本構想について(報告)

- 座長 懇話会でなぜこの構想について協議するのか。また、前回からの変更点はどこか。
- 事務局 意見を聴取するため行っている。意見聴取先として、農業委員会と農業協同組合は明記さ

れているが、生駒では本懇話会も聴取先として考えている。今回は期間が短かったため、報告という形を取らせてもらっている。

座長 ご了承いただけるか。

参加者 異議なし。

事務局 前回からの変更点は、農業経営の指標についてである。

(その他)

座長 検討事項は終了したが、何か意見はあるか。

参加者 農業祭の内容について決めたい。そのためには、生産者の意見も聞きたい。

参加者 11月の時期であれば、わさび菜を用意することができる。

座長 他の新規就農者の方にも、懇話会にオブザーバーやゲストスピーカーとして参加してもらえたら良いのでは。また、黒豆味噌を懇話会のブースにも置かせてもらえたらと思う。

参加者 黒豆味噌を生駒の方に知ってもらいたい。

参加者 黒大豆を実際生産しているが、採算が合わない。生産物を分類分けした時の良くない部分もお金に換えられる体制作りをしてほしい。そうしないと、特産化はできないと感じる。

参加者 すぐに結果は出ないと思う。5年くらいは粘らないといけないのでは。

参加者 他県では加工場を市で作り、組合で利用しているところもある。

参加者 京都の方でも、農家の方が集まって加工品なども販売しているところがあり流行っている。

座長 インフラがあるかないかで、できることが変わってくる。
農業祭に、黒大豆を出してもらうことはできるか。

参加者 農業祭で、黒豆ポンをしたらどうか。

座長 環境フェスティバルでは、黒大豆が生駒の特産品であることを知らない人もいた。

参加者 特産品のカレンダーを作って、家庭に配布したらどうか。

座長 懇話会以外にワーキンググループを作っても良いのでは。農業祭前に、企画会議を開催したらどうか。

事務局 農業祭の案として、黒豆ポンと新規就農者のPRということで良いか。

座長 企画会議は9月7日に開催する。その他何かご意見はあるか。

参加者 いちご狩りについて、事務局がこども課に声をかけ、いくつかの幼稚園から連絡をいただいた。しかし、生ものがだめということでいちご狩りをして、持って帰って食べることになると言われた。行政も事故があったら困るなど、厳しい立場にいると感じた。

座長 今後は、議論だけでなく、前に進めるような取組をできたらと思う。農業祭で懇話会としてブースを出すということが一つの大きなきっかけになると思うので、生駒の農業を進めるために知恵とご協力をいただきたい。